LANダビング機能

LANダビング機能の動作・制限事項について

■動作について

●本機の動作は、予告なく変更される場合があります。また、すべての環境下での動作を保証するものではありません。

■制限事項

●LAN録画･LANダビングの対応機器では録画再生動作を確認しておりますが、一般的なDTCP-IP対応のDLNA機器での録画･ダビング･再生を保証するものではありません。

■ネットワーク接続環境について

●ネットワーク接続環境に関する共通の注意事項は、86ページにまとめて記載しています。

LANダビングをご利用の前に必ず、86ページ「ネットワーク接続環境について」をご確認ください。

LANダビング機能とは

LANダビング機能（本書では「ダビング機能」と表記しています）は本機に接続したUSBハードディスクに録画した番組を、ホームネットワークに接続している「スカパー!プレミアムサービスLink」（ダビング）対応機器へダビング（ムーブ／コピー）する機能です。

ロゴマーク	機 能	内 容
スカパー! プレミアムサービス Link ダビング 「スカパー!プレミアムサービスLink」（ダビング）対応ロゴマーク	**ダビング（ムーブ）機能**	「1回だけ録画可能」（コピーワンス）の番組をダビング（ムーブ）する場合、ダビング後はUSBハードディスクから番組が消去されます。
	ダビング（コピー）機能	「コピーフリー」の番組をダビング（コピー）する場合、ダビング後もUSBハードディスクに番組が残ります。

●ダビング機能を使用するには「スカパー!プレミアムサービスLink」（ダビング）対応ロゴマークのついている機器が必要となります。

●ホームネットワーク（家庭内LAN）に用いられるDLNA(注1)およびDTCP-IP(注2)技術を利用し、本機に録画された番組を「スカパー!プレミアムサービスLink」（ダビング）対応機器（以下、「LANダビング対応機器」とします）へダビングします。

(注1)DLNAについて
Digital Living Network Allianceの略称。
ホームネットワークを用いてAV機器やパソコン、情報家電を相互に接続し、連携して利用するための技術仕様を策定する業界団体です。策定仕様はDLNAガイドラインとして規定されています。

(注2)DTCP-IPについて
Digital Transmission Content Protection for IP の略称。
ホームネットワークなどにおいて、コンテンツを保護し伝送する技術仕様です。

ダビングの種類

■いますぐダビング（☞124ページ）

「いますぐダビング」とは、USBハードディスクに録画した番組を選択し、すぐにダビングを開始する機能です。

・1つの録画番組のみダビングできます。
・録画予約よりも優先的に動作します。
・お客様操作による停止、録画機器側からの停止およびエラーが発生しない限り中止されません。
・電源オンのときに実行開始できる機能です。
（ダビング実行中にリモコンによる電源オフの場合はダビングを継続します。）

■あとからダビング（☞128ページ）

「あとからダビング」とは、USBハードディスクに録画した番組を事前に登録し、電源オフ時の一定期間内に自動でダビングを行う機能です。

・複数の録画番組をまとめてダビング登録できます。
・ダビングの予約設定はできません。
・録画予約が優先されます。（録画予約が開始すると、「あとからダビング」は中止します。）
・電源オフのときに動作します。
（ダビング実行中に電源オンすると、「あとからダビング」を中止します。）

お知らせ

● ダビング機能を使用するためには、以下の接続・設定が必要です。
- ●本機とUSBハードディスクの接続（USBハードディスクの接続 ☞ 26ページ）
- ●USBハードディスクの登録（機器登録 ☞ 67ページ）
- ●本機とLANダビング対応機器を接続
（LANダビングするための接続 ☞ 116ページ）
- ●本機とLANダビング対応機器の両方でネットワーク関連設定が必要です。
（本機の設定は→「ネットワーク関連設定をする」☞ 118ページ）
ご使用のLANダビング対応機器の取扱説明書を参照してください。
- ●ダビングするUSBハードディスクに切り換える（機器選択 ☞ 84ページ）

● ネットワーク接続された機器に録画されている番組をUSBハードディスクへ移動することはできません。

● USBハードディスクの間で番組を移動することはできません。

● 2012年10月より「スカパー!HD録画」、「スカパー!ダビング」は「スカパー!プレミアムサービスLink」に名称変更いたしました。

● 店頭で販売されている対応機器には、2012年9月以前の名称、ロゴで表示されている場合がありますが、それぞれ同じ対応機能を表しています。

2012年9月以前のロゴ	2012年10月以後のロゴ	対応機能
スカパー! スカパー!HD録画 LAN	スカパー! プレミアムサービス Link 録画	LAN録画
スカパー! スカパー!HD録画 LAN 録画＋ダビング	スカパー! プレミアムサービス Link 録画 ダビング	LAN録画 LANダビング

ダビング機能ご使用までの流れ

ご使用の録画環境を下図のフローチャートでA、Bについて確認し、ダビング機能をご使用ください。
LAN録画をすでにしている場合は、ダビングの項目を確認してください。
ダビング「可」の場合は、そのままダビング機能が使えます。（ ☞ 119ページ）

■ダビング機能のイメージ

USB HDD 録画

ダビング（ムーブ／コピー）

本機　USBハードディスク　LAN接続　LANダビング対応機器

B 設定

ネットワーク関連設定をする

ネットワーク関連設定
IPアドレス／DNS設定
プロキシサーバー設定
DLNA接続設定

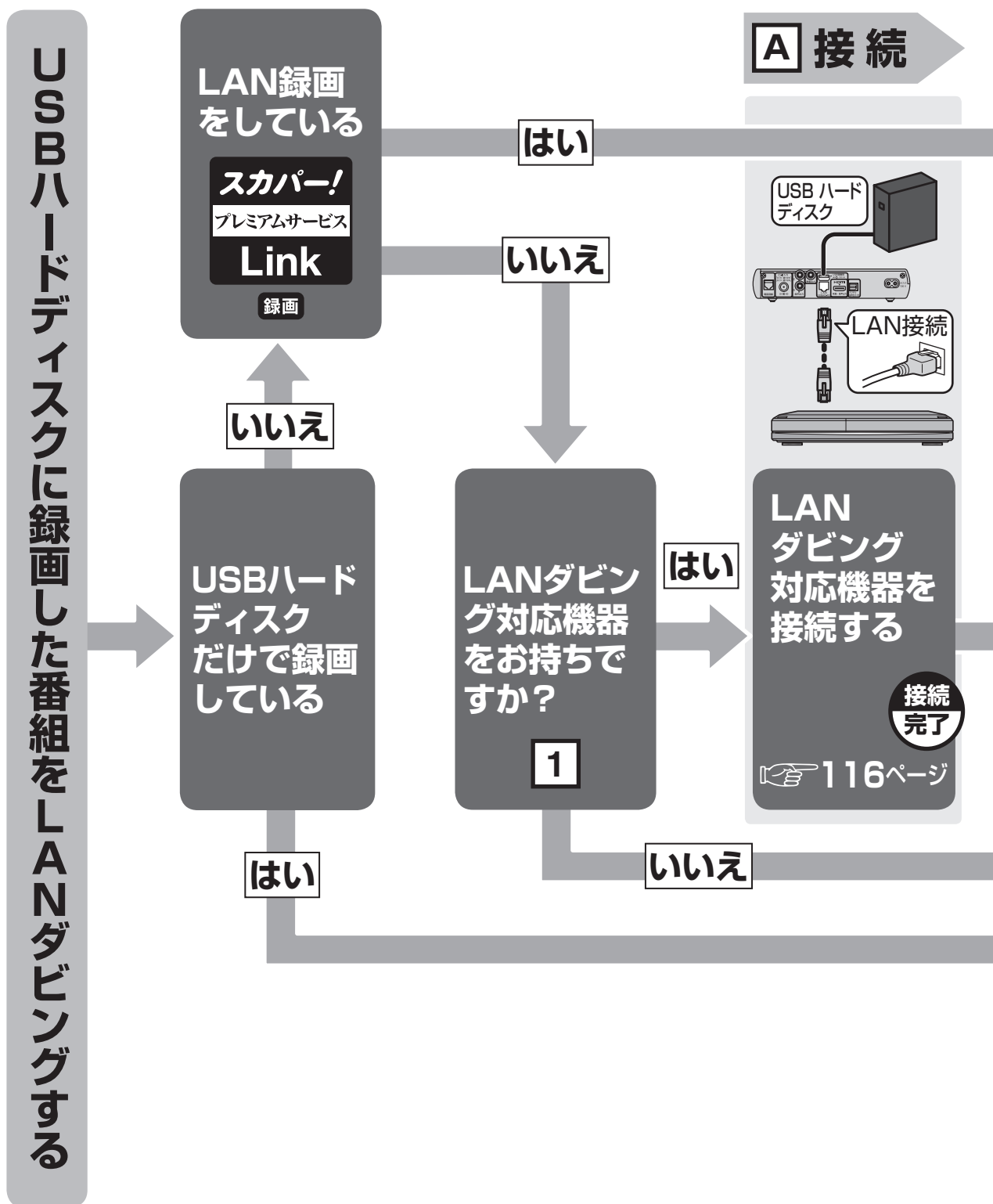
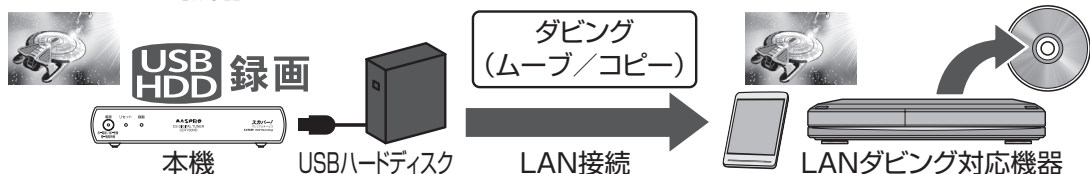
設定完了

☞118ページ

DLNA接続機器一覧を確認する

ダビングの項目を確認する（「可」「不可」）

ダビングの項目

☞119ページ

ダビング「可」の場合

ダビング機能が使えます

いますぐダビング ☞124ページ

あとからダビング ☞128ページ

ダビング「不可」の場合

LANダビング対応機器をご購入ください（購入後は 1 へ）

スカパー！ プレミアムサービス Link ダビング

「スカパー！プレミアムサービスLink」（ダビング）対応ロゴマークの付いている録画機器をお選びください。

「スカパー！プレミアムサービスLink」および対応機器に関する最新情報は、下記のスカパー！公式サイトでご覧いただけます。
「スカパー！プレミアムサービスLink」サイト（パソコンのみ）
http://www.skyperfectv.co.jp/rokuga/

LANダビングするための接続

LANダビングするためには、本機にUSBハードディスクとLANダビング対応機器の接続が必要です。
（USBハードディスクの接続 ☞ 26ページ）

本機とLANダビング対応機器をブロードバンドルーター経由で接続する

本機とLANダビング対応機器をLANケーブルでブロードバンドルーターに接続し、ダビングする場合の接続方法です。

USBハードディスク

USB ケーブル
（USB ハード
ディスクの
付属ケーブル）

HDMIケーブル
で接続

スカパー!
プレミアムサービス
Link
ダビング
対応機器

カチッ

LAN端子へ

本機（背面）

●LANダビング対応機器の取扱説明書に従って正しく接続してください。

LAN端子へ

カチッ

カチッと音がするまでしっかり挿し込む

LANケーブル※

LANケーブル※

※ストレートケーブル、クロスケーブルのどちらでもご使用になれます。

インターネット

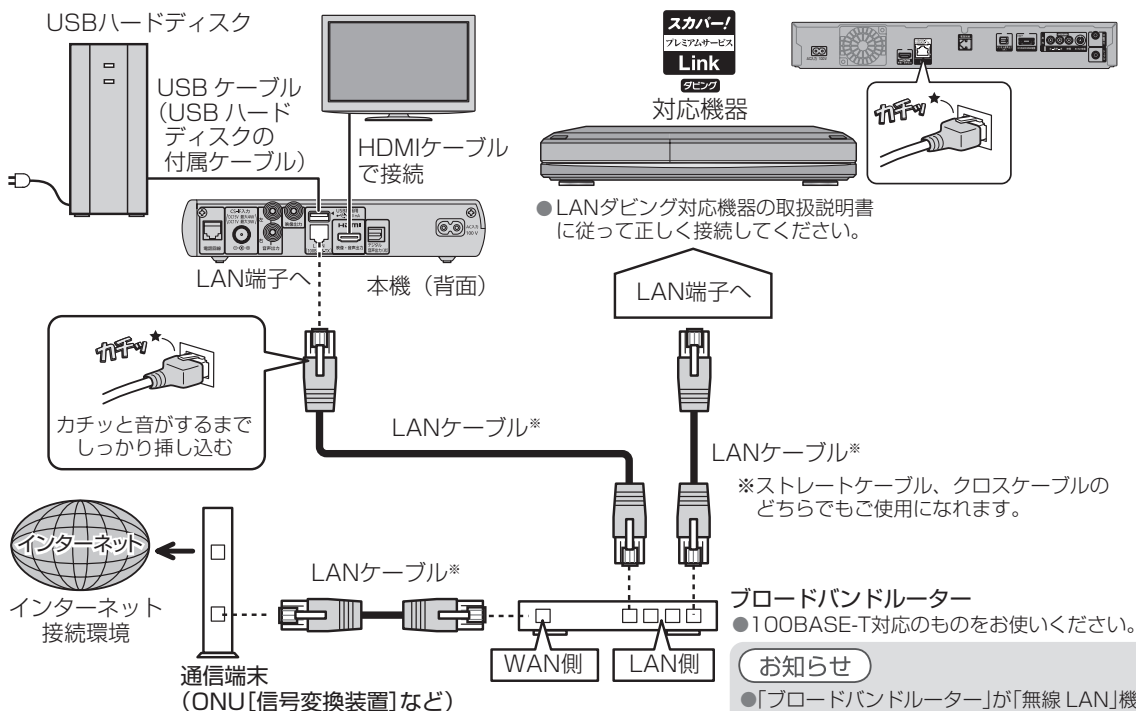
インターネット接続環境

LANケーブル※

ブロードバンドルーター
●100BASE-T対応のものをお使いください。

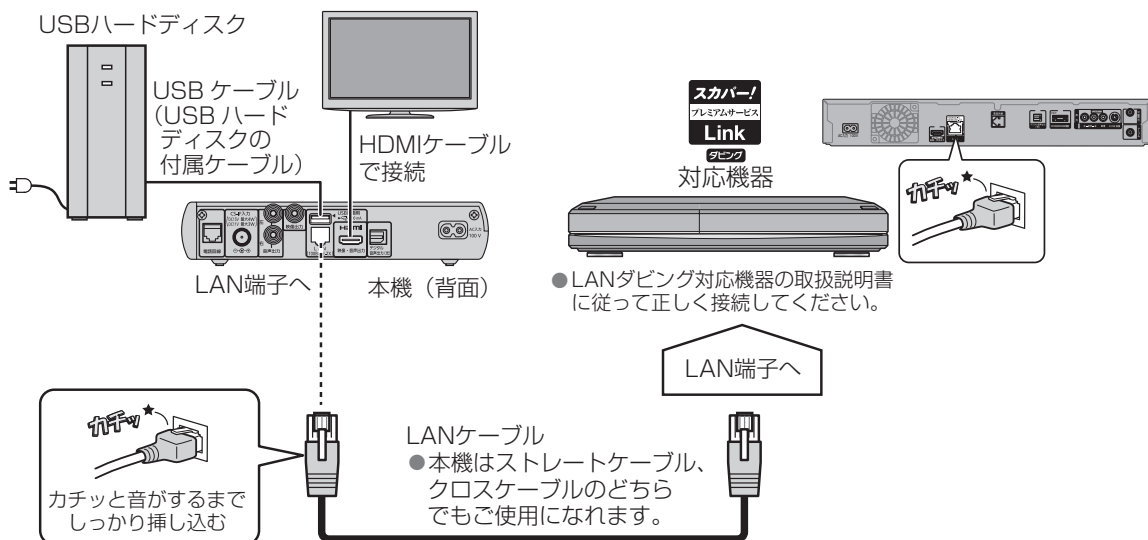
WAN側

LAN側

通信端末
（ONU［信号変換装置］など）

お知らせ

●「ブロードバンドルーター」が「無線 LAN」機能を持つ場合、対応モバイル機器への LAN ダビングも可能です。LAN ダビング対応モバイル機器の取扱説明書に従って正しく設定してください。

本機とLANダビング対応機器を直接接続する

本機とLANダビング対応機器をLANケーブル１本で直接接続してダビングする場合の接続方法です。

お願い

- ブロードバンドルーターやケーブルモデムはLAN端子が100BASE-T以上のものをご使用ください。
- 100BASE-T用の機器を接続するには「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
- 無線LANまたはPLC(高速電力線通信)※1を使った場合は、ダビングが正常に行えない場合があります。

お知らせ

- LANダビング対応機器の接続とネットワーク機能の設定については、LANダビング対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機とLANダビング対応機器は同一のセグメント内に接続されている必要があります。
- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定されることをおすすめ致します。(通常は「有効」に設定されています。「無効」にした場合は、固定IPアドレスの設定が必要となります。)
- DHCP※2でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、スイッチングハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- DHCPでのIPアドレス自動取得が使えないスイッチングハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。
  時間(約3分間)をおいて再度試してください。
- 本機からモデムやブロードバンドルーターなどの設定を行うことはできません。モデムやブロードバンドルーターなどの設定はパソコンが必要となりますので別途ご用意ください。
- LANケーブルには、カテゴリ5(100BASE-T対応)またはそれ以上の規格のものをお使いください。詳しくはモデムやブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。それでも改善されない場合は、シールドタイプのLANケーブルを使用されることをおすすめします。
- 本機のLAN端子にLANケーブル以外のもの(電話用のテレホンコードなど)を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LANケーブルを電話回線接続端子に無理に挿入しないでください。故障の原因になります。
- ダビング中は、本機や接続されているLANダビング対応機器の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。録画されているデータが破損するおそれがあります。
- ブロードバンドルーターにつないだLANダビング対応機器へのダビングは、ネットワークのトラフィック(ネットワーク上の情報量)などにより正常に行えない場合があります。
- LANケーブルを抜き差しするときは、必ず本機およびLANダビング対応機器の電源コードを抜いてください。

※1 家庭内の電力線を使って、電源コンセントからネットワークに接続して情報を送受信する仕組みです。
※2 サーバーやブロードバンドルーターなどが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みです。

LANダビングの設定

ネットワーク関連設定をする

本機とLANダビング対応機器の接続(☞ 116ページ)が終わったら、以下の設定をしてください。

1 [メニュー] を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、(決定) を押す

3 ▼▲で「ネットワーク関連設定」を選び、(決定) を押す

4 ▼▲で「IPアドレス/DNS設定」を選び、(決定) を押す

ネットワーク関連設定
IPアドレス／DNS設定
プロキシサーバー設定
DLNA接続設定

接続テスト

「接続テスト」を行って、ネットワークの接続・設定が正常か確認してください。

5 ▼▲で「接続テスト」を選び、(決定) を押す

IPアドレス／DNS設定	
接続テスト	―――
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---

表示	内容
OK	インターネットへの接続が完了
宅内機器使用可	本機とホームネットワーク回線の接続が完了（インターネットとは接続されていません。）
テスト中	テスト中
NG	接続と設定を確認してください

お知らせ

● 「接続テスト」が「NG」になった場合は、LANダビング対応機器の接続(☞ 116ページ)やネットワーク機器の説明書をご覧ください。右記の「IPアドレス/DNS設定」を行い、再度「接続テスト」をしてください。

IPアドレス/DNS設定

左記の「接続テスト」が「NG」になった場合、手動でIPアドレスなどを設定してください。

IPアドレス/DNS設定	
接続テスト	―――
IPアドレス自動取得	する
IPアドレス	--- --- --- ---
サブネットマスク	--- --- --- ---
ゲートウェイアドレス	--- --- --- ---
DNS-IP自動取得	する
プライマリDNS	--- --- --- ---
セカンダリDNS	--- --- --- ---

IPアドレス自動取得（「しない」に設定）

① ▼で「IPアドレス自動取得」を選び、(決定) を押す

② 確認画面が表示され、▶で「自動取得しない」を選び、(決定) を押す

IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス

① ▼▲で「IPアドレス」などを選び、(決定) を押す

② ネットワーク環境に合わせて、IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレスを設定する

DNS-IP自動取得（「しない」に設定）

IPアドレス自動取得「する」の場合に設定できます。

① ▼で「DNS-IP自動取得」を選び、(決定) を押す

② 確認画面が表示され、▶で「自動取得しない」を選び、(決定) を押す

プライマリDNS/セカンダリDNS

① ▼▲で「プライマリDNS」などを選び、(決定) を押す

② ネットワーク環境に合わせて、プライマリDNS/セカンダリDNSを設定する

LANダビング対応機器を設定する（DLNA接続設定）

ダビング機能を使用するには、本機とLANダビング対応機器の両方に設定が必要です。6台まで自動で登録します。

1 LANダビング対応機器を設定する

● 設定時は必ずLANダビング対応機器の電源を入れておいてください。
● 設定方法や注意事項など、詳しくはLANダビング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機を設定する

1 メニュー を押す

2 ▼▲で「設定する」を選び、決定 を押す

3 ▼▲で「ネットワーク関連設定」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「DLNA接続設定」を選び、決定 を押す

5 ▼▲で「DLNA接続機器一覧」を選び、決定 を押す

6 ▼▲で使用するLANダビング対応機器を選び、決定 を押す

<DLNA接続機器一覧>

可	ダビング可能
不可	ダビング不可能※

※「不可」の表示の機器はLANダビングには対応していません。
ダビング機能を使用するには、LANダビング対応機器が必要です。
（☞ 112、114ページ）

● ダビング可能な機器を選んでください。

● 黄：DLNA接続機器一覧から削除

7 ▼▲で「メニュー登録」を選び、◀で「する」を選ぶ

機器1の設定

項目	設定
メーカー	○○○○○
表示名	○○○ー○○○
録画	可
ダビング	可
メニュー登録	**する** しない
録画先	HDD
録画先の起動	

● DLNA接続機器のメニューへの登録は、6台までです。
● メニュー登録「しない」に設定または、DLNA接続機器一覧から削除した場合、その機器へのダビングはできません。
● 「録画先の起動」を選び、決定 を押すと選択中のLANダビング対応機器の電源を入れることができます。
※LANダビング対応機器によっては起動できない場合があります。

お知らせ

● DLNA接続機器一覧を表示中に 赤 を押すと、DLNA接続機器の詳細情報画面を確認できます。

DLNA接続機器の詳細情報
機器名：○○○ー○○○
メーカー名：○○○○○
モデル名：BD/DVD Recorder
操作画面連携機能：あり
予約情報連携機能：あり
ダビング実行通知対応：あり
ラジオ録画機能：不可
MACアドレス：**-**-**-**-**-**-**
IPアドレス：**-**-**-**-**-**-**
残量：90%

ダビング実行通知対応 — ダビング実行通知対応：あり
LANダビング対応機器のハードディスク残量 — 残量：90%

● 「ダビング実行通知対応」について
ダビング実行時に開始・終了時刻を通知し、ダビング実行中にダビング機器側で他の録画予約による影響を受けないようにします。
● 機器の内容が正しく表示されないときは、ネットワーク接続やLANダビング対応機器の設定を確認してください。
● 詳細情報内容は機器によって異なります。

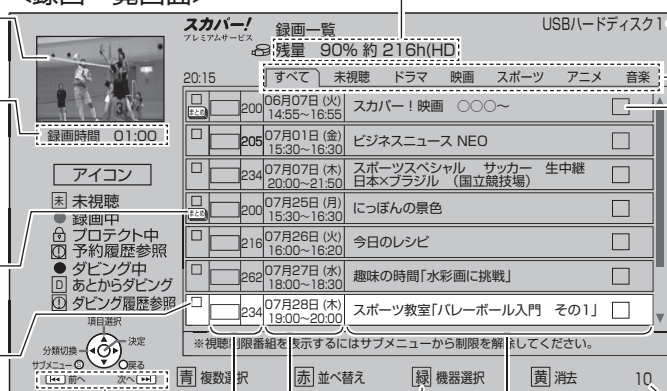
録画一覧（ダビング関連アイコン、操作）

USBハードディスクに録画した番組を、録画一覧から選んでダビングができます。

を押す

録画一覧は、USBハードディスクに録画した番組を一覧表示します。
●録画番組を並べ替える（☞ 82ページ）
●いますぐダビング（☞ 124ページ）
●あとからダビング（☞ 128ページ）

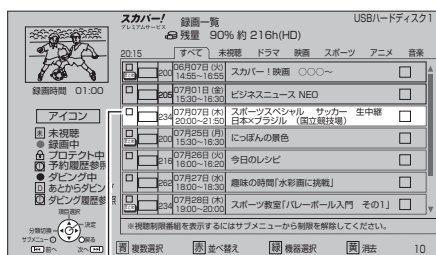
<録画一覧画面>

- 選んでいる番組の再生画面（プレビュー画面）
- 選んでいる番組の録画時間
  ※まとめ番組を選択中は、「まとめ番組数」を表示します。
- まとめ番組アイコン（まとめ）
- 青：複数選択
  録画番組を複数選んだとき☑で表示
- −スキップ：1ページ分リストを上へスクロール
- ＋スキップ：1ページ分リストを下へスクロール
- 録画できる残り時間
  録画先として接続されているUSBハードディスクの録画可能時間の目安です。録画できる時間が少なくなったら表示が「--h」となります。
- USBハードディスクの機器名
- ◀▶で選択
- ダビング関連アイコン（下表）
- 録画日時
- 録画した番組名
- 録画番組の総数
- 録画した放送チャンネル
- 機器選択
  「USBハードディスク」または「DLNA接続機器」を複数台接続している場合、再生したい機器を「機器選択」画面で切り換えることができます。（☞ 84ページ）

<ダビング関連アイコン>

アイコン	名 称	内 容
●（赤）	録画中	「録画中」の番組 ● 録画中の番組はダビング登録できません。
🔒	プロテクト中	「プロテクト設定」されている録画番組 ● プロテクトされている録画番組はダビング登録できません。「プロテクト設定変更」（☞ 121ページ）で設定してください。
●（青）	ダビング中	「いますぐダビング」中の録画番組 （☞ 124ページ）
D（青）	あとからダビング	「あとからダビング」に登録されている録画番組 （☞ 128ページ）
!（青）	ダビング履歴参照	ダビングが機器通信異常などで失敗した録画番組 （☞ 132ページ）

USBハードディスクに録画した番組のプロテクトを解除する

プロテクトが設定されている録画番組はダビング登録できません。ダビングしたい録画番組のプロテクトを、あらかじめ解除しておいてください。

 を押し、
▼▲でプロテクトを解除したい録画番組を選ぶ

録画番組情報

2 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「プロテクト設定変更」を選び、決定 を押す

プロテクト設定を変更します。
例：プロテクトが解除されると、録画番組情報に表示されていた 🔒 アイコンが消えます。

視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する

視聴年齢制限のある番組は、録画一覧には表示されない場合があります。表示するためには以下の操作を行ってください。

●視聴年齢制限のある番組は「･･･」と表示されます。

1 を押す

2 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す

3 1 〜 0 を押して、暗証番号を入力する

（黄 を押すごとに最後の桁を取り消します）

ダビング可能回数を確認する

1 録画一覧 を押す

2 ▼▲で録画番組を選び、
番組説明 を押す

番組名

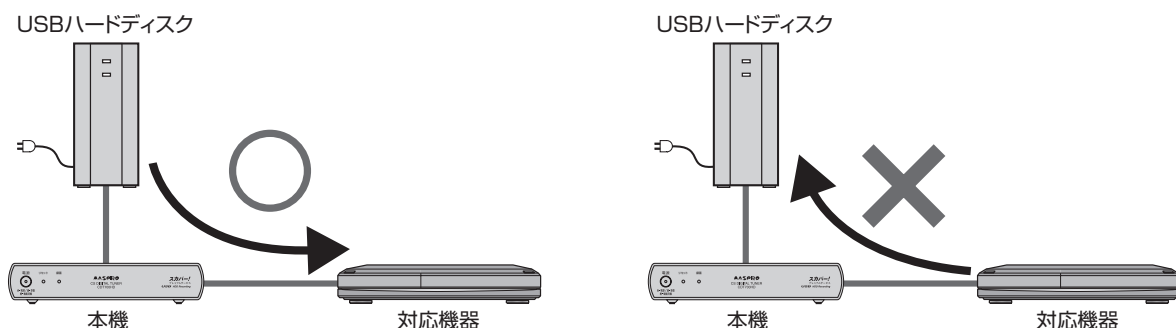
ダビング可能回数
録画番組のダビングができる回数を表示します。
例：「1回」と表示されている場合は、ダビングが1回できます。

番組内容

お知らせ

- 録画一覧に表示されているUSBハードディスクに録画した番組がダビングできます。
録画中の番組はダビングできません。
- LANダビング対応機器の仕様により、ダビング実行が中止される場合があります。
- メニュー →「機器を操作する」→「USBハードディスク」で「録画一覧」画面を表示させることもできます。
- 起動時にUSBハードディスクを接続している場合や、機器選択（☞ 84ページ）でUSBハードディスクを切り換えた場合は、USBハードディスクの認識に時間がかかることがあります。
- **コピー制限について**
本機では著作権保護のためコピー世代管理信号に基づいて、放送される番組に付加されているコピー制御情報によって録画回数が制限されています。ダビング可能回数が1回の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合、その番組はUSBハードディスクから消去されます。ダビングが失敗した場合、その録画番組はUSBハードディスクに残ります。

同時動作と優先動作について（ダビング）

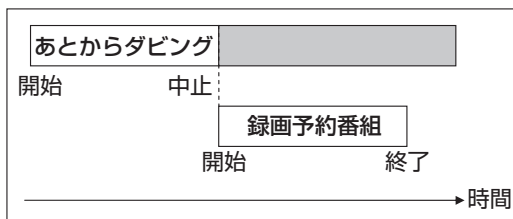
ダビング機能は、USBハードディスクに録画した番組をネットワーク接続された機器へ移動させる機能です。
逆にネットワーク接続された機器に録画した番組を、USBハードディスクへ移動することはできません。

■ネットワーク接続による以下の機能は同時に動作することができません。
いますぐダビング・あとからダビング・LAN録画・DLNA接続・スカパー!オンデマンド

■ネットワーク接続による機能の優先動作は、以下の通りです。

※対応機器の同時動作制限などの仕様により、ダビング実行が中止される場合があります。
※「いますぐダビング」実行中にLAN録画の予約がある場合、対応機器の仕様により
「いますぐダビング」が中止され、LAN録画の予約を実行する場合があります。
※LAN録画実行中に「いますぐダビング」はできません。LAN録画を停止してから行ってください。

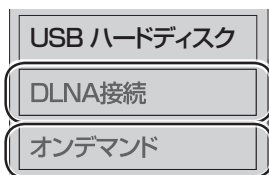
■ダビング機能と、録画機能（USBハードディスク録画、LAN録画）は同時に動作できません。
※いますぐダビング実行中にUSBハードディスクの再生はできます。

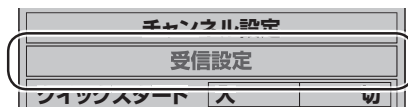
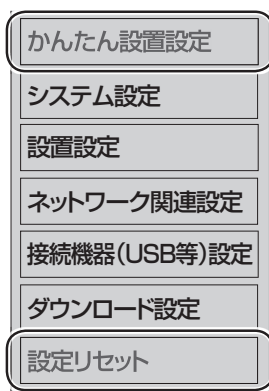
優先動作によるダビングの中止

「あとからダビング」実行中に、優先順位が高い録画予約動作が開始されたとき、「あとからダビング」は中止しますが、USBハードディスクに録画した番組は残ります。
（「1回だけ録画可能」の番組がダビング中止になった場合、対応機器にはダビング途中までの映像は残りません。）

ダビング実行中の操作制限

ダビング実行中は、下記のメニュー操作はできません。

● メニュー→「機器を操作する」
→「DLNA接続」
→「オンデマンド」

● メニュー→「設定する」→「ネットワーク関連設定」
→「IPアドレス/DNS設定」
→「プロキシサーバー設定」

● メニュー→「設定する」
→「かんたん設置設定」
→「設定リセット」

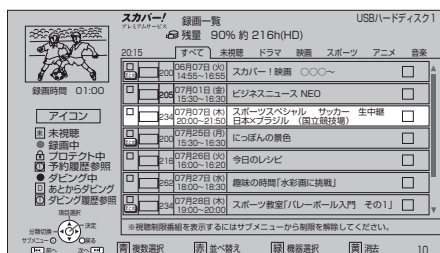
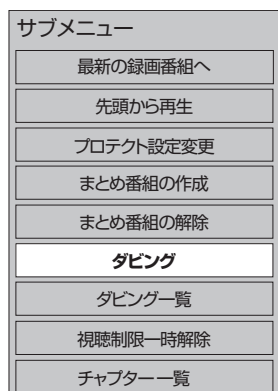
● メニュー→「設定する」→「設置設定」
→「受信設定」

お知らせ

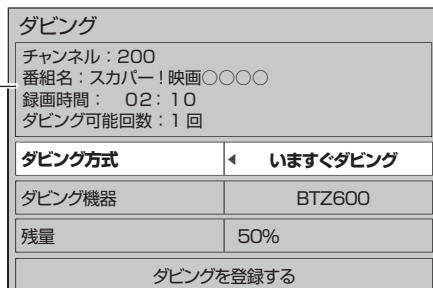
- ダビング実行中にICカードカバーを開くと、ダビングは中止します。動作中はICカードカバーを必ず閉めてください。
- ダビング実行中にリセットボタンを押すと、ダビングは中止します。

いますぐダビング

「いますぐダビング」とは、USBハードディスクに録画した番組を、すぐにダビングを開始する機能です。1つの録画番組のみをダビングします。

1 を押す

2 ▼▲でダビングしたい録画番組を選ぶ

3 サブメニュー(S) を押し、▼▲で「ダビング」を選び、(決定) を押す

ダビングができない場合は、メッセージを表示します。(☞ 183ページ)

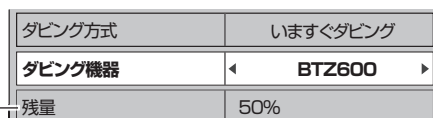
4 ▼▲で「ダビング方式」を選び、▶で「いますぐダビング」に設定する

ダビング設定パネル
選択した録画番組の情報を表示します。
- チャンネル
- 番組名
- 録画時間
- ダビング可能回数

● 「ダビング可能回数:1回」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合その番組はUSBハードディスクから消去されます。

お知らせ

● USBハードディスクに録画中またはLAN録画中は、「いますぐダビング」は選択できません。

5 ▼▲で「ダビング機器」を選び、◀▶でダビング先を設定する

ダビング方式	いますぐダビング
ダビング機器	◀ **BTZ600** ▶
残量	50%

● ダビング先の機器を選びます。
LANダビング対応機器のみ表示します。
(☞ 119ページ)

残量
「ダビング機器」で選んだ機器の録画残量を表示します。

⑥ ▼▲で「ダビングを登録する」を選び、(決定) を押す

ダビング機器	BTZ600
残量	50%
ダビングを登録する	

⑦ 「ダビング登録確認」画面を表示します。◀で「はい」を選び、(決定) を押す

「1回だけ録画可能」の録画番組をダビングする際に表示します。
ダビングが成功した場合、USBハードディスクに録画した番組は消去されます。

ダビング登録確認
・選択した番組はコピー制限により、ダビングが成功するとUSBハードディスクから消去されます。
・本機では、「いますぐダビング」は録画予約よりも優先して実行します。
・ダビング実行中は、録画予約が実行されない場合があります。
・ダビング機器の同時動作制限などの仕様により、ダビング実行が中止される場合があります。
・ダビング実行中にLAN録画予約がある場合、ダビング機器の仕様により転送が中止され、LAN録画予約が実行される可能性があります。
・ダビング実行通知対応機器へのダビング開始時に、実行通知が受付られなかったときは転送が中止される場合があります。
・ダビング機器の残量が不足しているときは、ダビングできない可能性があります。
「いますぐダビング」を実行しますか?
はい　いいえ

●「いいえ」を選択すると、録画一覧画面に戻ります。

「いますぐダビング」は録画予約よりも優先して実行します。
「いますぐダビング」を実行中は録画予約などが動作されない場合があります。（同時動作と優先動作について ☞ 122ページ）

ダビングを実行します。

お知らせ

●LANダビング対応機器の録画残量が不足しているときは、ダビングができない場合があります。残量を確認してください。
●録画番組ごとに異なるLANダビング対応機器を選択できます。
●「いますぐダビング」を実行中の録画番組や「あとからダビング」で登録済みの録画番組をダビング登録することはできません。
●「あとからダビング」に登録された録画番組を「いますぐダビング」する場合は、「あとからダビング」を解除してから、「いますぐダビング」に再度登録してください。
●ダビング登録された録画番組はダビングが終了するまで削除できません。
●「いますぐダビング」は、電源オンのときに実行開始できる機能です。
ダビング実行中にリモコンによる電源オフの場合はダビングを継続します。
●「いますぐダビング」は、1つの録画番組のみダビングできます。複数の録画番組を一度にダビング登録する場合は「あとからダビング」で設定してください。
●「いますぐダビング」のダビング成功、失敗は「ダビング履歴」の画面に表示します。
●LANダビング対応機器の同時動作制限などの仕様により、ダビング実行が中止される場合があります。
●「いますぐダビング」実行中にLAN録画の予約がある場合、対応機器の仕様により「いますぐダビング」が中止され、LAN録画の予約を実行する場合があります。

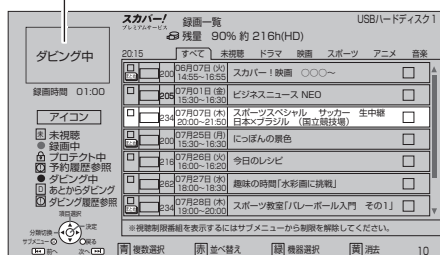
いますぐダビング

「いますぐダビング」実行中の画面表示

ダビング実行中は画面の右下にダビングの進捗率を表示します。

- 画面表示 を押したときや、チャンネルを切り換えるごとに表示します。
- しばらくすると表示は消えます。
（画面表示 を押しても表示は消えます。）

録画一覧画面で「いますぐダビング」実行中の録画番組が選択された時は、プレビュー画面内には「ダビング中」と表示します。

プレビュー画面

「いますぐダビング」を停止する

実行中の「いますぐダビング」を停止する場合は下記の二つの方法があります。

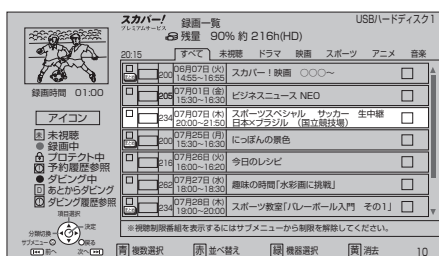
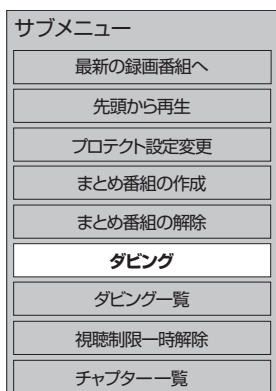
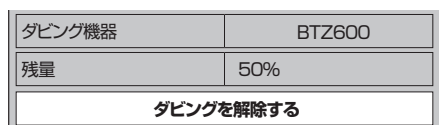
録画一覧から停止する

1 録画一覧 を押す

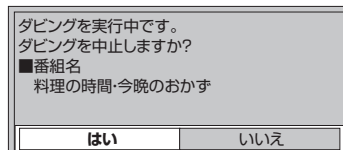
2 ▼▲でダビングを停止したい録画番組を選ぶ

3 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「ダビング」を選び、決定 を押す

4 ▼▲で「ダビングを解除する」を選び、決定 を押す

ダビング機器	BTZ600
残量	50%
ダビングを解除する	

5 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

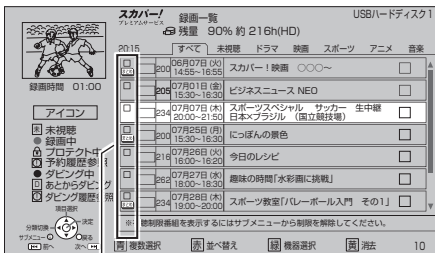
番組を見ているときに停止する

1 停止 ■ を押す

2 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

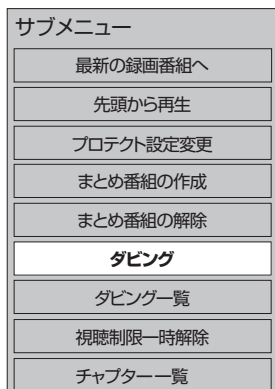
あとからダビング

「あとからダビング」とは、USBハードディスクに録画した番組を事前に登録し、電源オフ時の一定期間内に自動でダビングを行う機能です。複数の録画番組をまとめてダビング登録ができます。
●あとからダビングは最大32件まで登録できます。
●まとめ番組もダビング登録できます。まとめられた番組すべてをダビング登録します。

① を押す

② ▼▲でダビングしたい録画番組を選ぶ

■録画番組を複数選ぶときは…

青 を押すと、選択した録画番組にチェックマーク(☑)が入ります。複数の録画番組のダビング設定ができます。

③ サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「ダビング」を選び、決定 を押す

ダビングができない録画番組が含まれている場合は、メッセージを表示します。
(☞ 183ページ)

④ ▼▲で「ダビング方式」を選び、◀で「あとからダビング」に設定する

●録画番組を複数選んでいる場合は、「あとからダビング」以外は選択できません。

ダビング設定パネル
選択した録画番組の情報を表示します。
(1つの録画番組を選択した場合)
・チャンネル
・番組名
・録画時間
・ダビング可能回数
(複数の録画番組を選択した場合)
「あとからダビング」に登録する録画番組数を表示します。

●「ダビング可能回数：1回」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合その番組はUSBハードディスクから消去されます。

⑤ ▼▲で「ダビング機器」を選び、◀▶でダビング先を設定する

ダビング方式	あとからダビング
ダビング機器	◀ **BTZ600** ▶
残量	50%

●ダビング先の機器を選びます。
LANダビング対応機器のみ表示します。
(☞ 119ページ)

残量
「ダビング機器」で選んだ機器の録画残量を表示します。

お知らせ

●複数の録画番組を登録した場合は、すべて同じ機器にダビング登録します。
録画番組ごとに個別の設定はできません。

❻ ▼▲で「ダビングを登録する」を選び、 を押す

ダビング機器	BTZ600
残量	50%
ダビングを登録する	

●録画番組をダビング登録します。

❼ 「ダビング登録確認」画面を表示します。◀で「はい」を選び、 を押す

●「いいえ」を選択すると、録画一覧画面に戻ります。

ダビング登録確認
・ダビング登録する番組数：○件
・選択した番組の状態により、ダビング実行後にUSBハードディスクから消去される場合があります。
・選択した番組のコピー制限は録画一覧の番組内容表示でご確認ください。
・「あとからダビング」は電源オフ時、実行可能な場合にダビングを実行します。
・操作によって電源がオンになるとき、またダビング機器の動作状況や接続状況などにより「あとからダビング」の実行を中止します。
・ダビング実行通知対応機器へのダビング開始時に、実行通知が受付られなかったときは転送が中止される場合があります。
・ダビング機器の残量が不足しているときは、ダビングできない可能性があります。
「あとからダビング」を登録しますか?
はい　いいえ

ダビングを登録します。

「1回だけ録画可能」の録画番組をダビングすると、ダビングが成功した場合その番組はUSBハードディスクから消去されます。

電源オフ時にダビングを実行します。

お知らせ

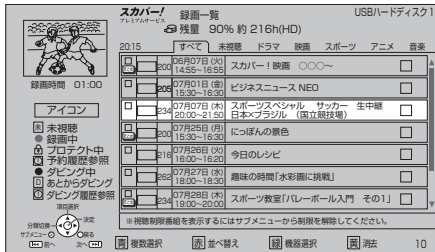
●「あとからダビング」の予約設定はできません。
●電源オフのときに「あとからダビング」を実行します。
ダビング実行中に以下の場合はダビングを中止します。
・ダビング実行中に電源オンした場合
・LAN録画を開始した場合（☞ 122ページ）
・優先順位が高い録画予約が動作した場合（☞ 123ページ）
●ネットワーク接続による機能の優先動作（☞ 122ページ）や、ダビング機器側の状態により、「あとからダビング」が実行しないことや、中止することがあります。ダビングの状況はあとからダビング一覧（☞ 130ページ）または「ダビング履歴」（☞ 132ページ）をご確認ください。ダビング機器の動作仕様ついては、ダビング機器の取扱説明書を参照してください。
●「あとからダビング」が中止された場合、再度ダビングができる状態になれば、ダビングを再実行します。（☞ 130ページ）
●電源オンの状態では「あとからダビング」は実行されません。
●複数の録画番組をダビング登録した場合でも、ダビングは録画番組ごとに個別で実行します。一度にダビングをするものではありません。
●ダビングの順序は、登録した順に実行します。あとからダビング一覧（☞ 130ページ）で確認することができます。ダビング機器側の状態により、ダビングの順序が入れ換わる場合があります。

あとからダビング

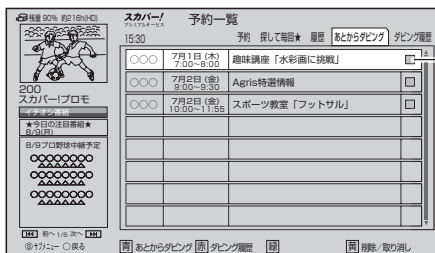
「あとからダビング」は優先順位（☞ 122ページ）によってダビングが実行されない場合があります。

「あとからダビング」の確認・取り消し

「あとからダビング」に登録した番組を一覧表示する（あとからダビング一覧）

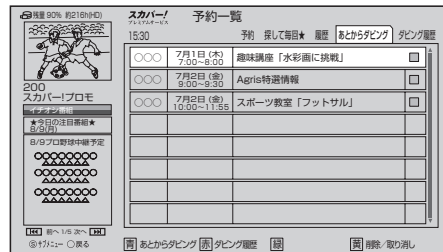
1 を押す

2 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「ダビング一覧」を選び、(決定) を押す

ダビング
ダビング一覧

「あとからダビング」に登録した番組の一覧を表示します。

ダビング再実行中アイコン(右表)

- 登録した順に上から一覧表示します。この順でダビングを実行します。ダビング機器側の状態により、ダビングの順序が入れ換わる場合があります。
- 実行前の「あとからダビング」の登録を32件まで表示します。
- 予約一覧 ◯ を押し、予約一覧を表示中に◀▶を押しても「あとからダビング」を表示することができます。
- 視聴年齢制限のある番組は表示されない場合があります。（☞ 131ページ）

「あとからダビング」の登録を取り消す

3 左記手順 ❶ ～ ❷ であとからダビング一覧を表示させる

4 ▼▲で取り消したい番組を選び、黄 を押す

5 確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、(決定) を押す

- 選択した番組を「あとからダビング」の登録から削除します。
- 「あとからダビング」の詳細からでも削除できます。（☞ 131ページ）

<ダビング再実行中アイコン>

アイコン	名 称	内 容
再実行	ダビング再実行中	「あとからダビング」が再実行の待機中であることを示すアイコン。（「あとからダビング」が実行中に電源を入れるなどの操作をした場合や、ダビング機器側の状態により、ダビングが実行されない、または中止された場合など）

「あとからダビング」の詳細を表示する

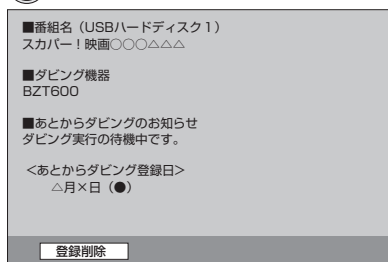
1 **左ページ手順 ❶ ～ ❷ であとからダビング一覧を表示させる**

2 **▼▲で確認したい番組を選び、(決定) を押す**

■番組名（USBハードディスク１）
スカパー！映画○○○△△△

■ダビング機器
BZT600

■あとからダビングのお知らせ
ダビング実行の待機中です。

<あとからダビング登録日>
△月×日（●）

登録削除

●「あとからダビング」の詳細を表示します。
・番組名
・ダビング機器
・あとからダビングのお知らせ

お知らせ

● 詳細画面で「登録削除」を選び、(決定) を押すと、「あとからダビング」の登録を削除できます。

視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する

視聴年齢制限のある番組は、あとからダビング一覧には表示されない場合があります。表示するためには以下の操作を行ってください。
●視聴年齢制限のある番組は「･･･」と表示されます。

1 **左ページ手順 ❶ ～ ❷ であとからダビング一覧を表示させる**

2 **(サブメニュー Ⓢ) を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、(決定) を押す**

3 **(1 あ @.) ～ (0 わをん) を押して、暗証番号を入力する**

（(黄) を押すごとに最後の桁を取り消します）

お知らせ

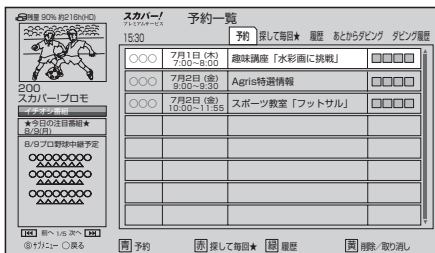
● 再実行（ダビング再実行中）のアイコンが表示されている録画番組は、ダビングを再実行します。
● 一週間以内にダビングできなかった録画番組は、あとからダビング一覧から削除され、ダビング履歴（ ☞ 132ページ）に「ダビング失敗」として表示しますが、USBハードディスクに録画した番組は残ります。（「1回だけ録画可能」の番組がダビング中止になった場合、対応機器にはダビング途中までの映像は残りません。）

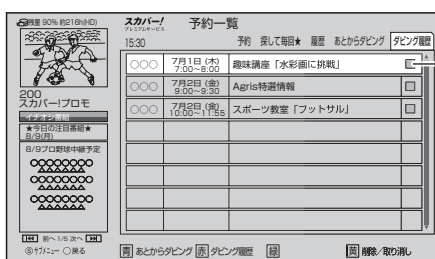
ダビング履歴

ダビング履歴の確認・削除

「いますぐダビング」と「あとからダビング」の実行履歴を表示する

●ダビングを実行した順に上から最大64件まで一覧表示します。

1 予約一覧 ◯ を押す

2 ◀▶で「ダビング履歴」を選ぶ

●ダビング履歴一覧を表示します。

<ダビング履歴アイコン>

アイコン	名 称	内 容
成功	ダビング成功	ダビングが正常に終了した場合
失敗	ダビング失敗	実行中に電源を入れるなどの操作をした場合や、ダビング機器側の状態によりダビングが正常に終了しなかった場合

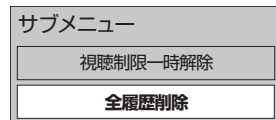
ダビング履歴を削除する

3 ▼▲で削除したいダビング履歴を選び、黄 を押す

●選択したダビング履歴を削除します。

●ダビング履歴詳細からでも削除できます。（☞ 133ページ）

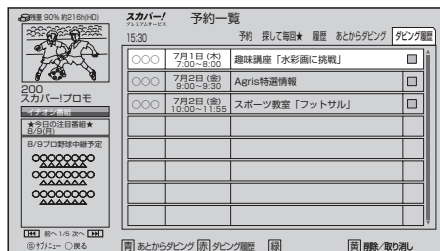
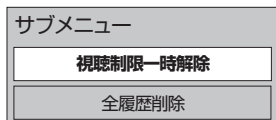
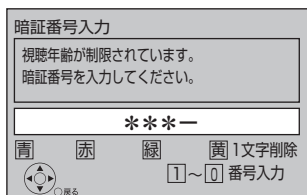
■すべてのダビング履歴を削除するときは…

3 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「全履歴削除」を選び、決定 を押す

4 確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、決定 を押す

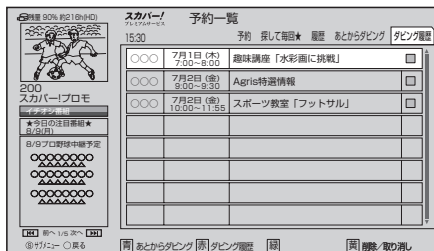
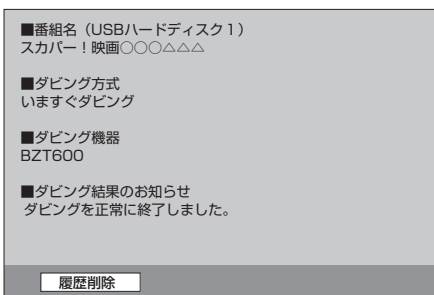
●すべてのダビング履歴を削除します。

視聴年齢制限のある番組を一時制限解除する

視聴年齢制限のある番組は、ダビング履歴一覧には表示されない場合があります。表示するためには以下の操作を行ってください。
●視聴年齢制限のある番組は「･･･」と表示されます。

1 左ページ手順 ❶ ～ ❷ で「ダビング履歴」を表示させる

2 サブメニュー Ⓢ を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す

3 1 ～ 0 を押して、暗証番号を入力する

（黄 を押すごとに最後の桁を取り消します）

ダビング履歴の詳細を表示する

1 左ページ手順 ❶ ～ ❷ で「ダビング履歴」を表示させる

2 ▼▲で確認したい番組を選び、決定 を押す

●ダビング履歴詳細を表示します。
- 番組名
- ダビング方式
- ダビング機器
- ダビング結果のお知らせ

お知らせ

●詳細画面で「履歴削除」を選び、決定 を押すと、ダビング履歴を削除できます。